

# 田村喜子先生

## 写真集

平成24年10月25日

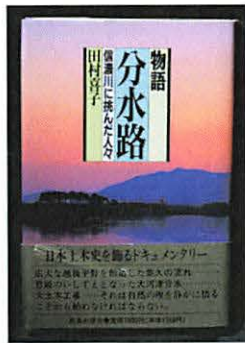
「田村喜子さんに土木のころを見る」会

# 目 次

〔Ⅰ〕 田村喜子先生 著書・作品集	1
〔Ⅱ〕 田村喜子先生・思い出アルバム	
(1) 出版物に見るポートレート	7
(2) 田村喜子先生の表情	9
(3) 田村喜子先生 幼少から社会人へ	10
(4) 講演・感動を伝える	11
(5) 田村喜子先生・土木工事現場 最前線に立つ	12
(6) 田村喜子先生・全国各地 旅を楽しむ	15
(7) 田村喜子先生・人との出会い	18
(8) 田村喜子先生・多くの人に思い出を作る	20
(9) 田村喜子先生・風土工学の思い出	24

編集・写真提供： 特定非営利活動法人  
風土工學デザイン研究所

田村喜子先生 著書・作品集 (その1)



田村喜子  
高橋裕  
竹林征三  
他共著  
感性工学会著作賞  
受賞

田村喜子先生 著書・作品集 (その2) [絵本]



「鬼の館」公募の創作民話

最優秀賞に  
「鬼翔平物語」

全国公募された119点の中から最優秀賞など  
入賞作品発表の場には、通称「鬼の館」

「鬼の館」は、毎年11月、全国の各都道府県  
に設置された「鬼の館」で、児童・青少年が  
創作した民話を発表する機会がある。今年も  
11月、全国の各都道府県に設置された「鬼の館」  
で、児童・青少年が創作した民話を発表する  
機会があった。今年も、全国の各都道府県に  
設置された「鬼の館」で、児童・青少年が  
創作した民話を発表する機会があった。

「鬼の館」は、毎年11月、全国の各都道府県  
に設置された「鬼の館」で、児童・青少年が  
創作した民話を発表する機会がある。今年も  
11月、全国の各都道府県に設置された「鬼の館」  
で、児童・青少年が創作した民話を発表する  
機会があった。今年も、全国の各都道府県に  
設置された「鬼の館」で、児童・青少年が  
創作した民話を発表する機会があった。

「鬼の館」は、毎年11月、全国の各都道府県  
に設置された「鬼の館」で、児童・青少年が  
創作した民話を発表する機会がある。今年も  
11月、全国の各都道府県に設置された「鬼の館」  
で、児童・青少年が創作した民話を発表する  
機会があった。今年も、全国の各都道府県に  
設置された「鬼の館」で、児童・青少年が  
創作した民話を発表する機会があった。

応募119点から選出  
8点も決まる  
入選作品

絵本化し来春発刊へ

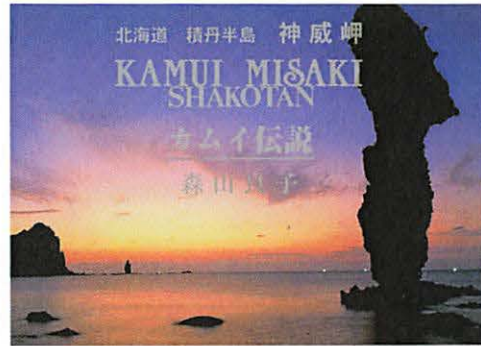
「鬼の館」は、毎年11月、全国の各都道府県  
に設置された「鬼の館」で、児童・青少年が  
創作した民話を発表する機会がある。今年も  
11月、全国の各都道府県に設置された「鬼の館」  
で、児童・青少年が創作した民話を発表する  
機会があった。今年も、全国の各都道府県に  
設置された「鬼の館」で、児童・青少年が  
創作した民話を発表する機会があった。



「鬼翔平物語」最優秀賞受賞の賞状と盾。



# 田村喜子先生 著書・作品集 (その3) [作詞]



## 積丹半島に今も伝わる「義経伝説」

源義経が北海道に渡ったという説を肯定的に表現している文献は多数ありますが、中でも1670年林春舟「本朝通鑑」、1720年新井白石「蝦夷志」、同年水戸藩「日本史」がその代表です。

義経主従は富樫でアイヌ酋長メカガの襲撃を受け捕らわれの身となり、その籠城で突如暴増のイナウが倒れる不祥事がありました。これに神の怒りを感じたアイヌたちは、急に義経主従を介抱する立場に変わりました。やがて酋長の娘は義経を嫁にようになります。



義経主従は大志を遂げるため脱走を決心します。酋長の娘メカガが執れを指しむ中、義経は「来年また来る」と言いました。しかし一年たっても義経はもどらず、とうとうメカガは自身自殺を遂げるのです。それが「メカガ岩」と言われています。以来、神威岬の神威岩より北には決して和人の女性を行かせることはなく、和人の女性の乗っている船はよく難破したといわれています。

カムイ岬に立っています  
いつも話してくれたあなたのふるさと  
見渡すかぎりの水平線と切り立つ岩に  
でも、あなたの姿は見えませんが  
暮れなずむまでわたしはひとり  
あなたとの思い出にひたります

風が髪を揺らせます  
ふいに運ばれてきたあなたのおいさ  
さがし求めるシャコタンと海を砕ける波を  
でも、あなたの姿は見えませんが  
指にすくった涙のしずく  
エゾユリの花びらに移します

カムイ岬の伝説はメノコの叫び  
でも、あなたの姿は見えませんが  
あなたの名前、声をかぎりに  
叫んでも返るのは波の音

## カムイ伝説

作詞/田村喜子 作曲/原 正美

カムイ岬に立っています  
いつも話してくれたあなたのふるさと  
見渡すかぎりの水平線と切り立つ岩に  
でも、あなたの姿は見えませんが  
暮れなずむまでわたしはひとり  
あなたとの思い出にひたります

風が髪を揺らせます  
ふいに運ばれてきたあなたのおいさ  
さがし求めるシャコタンと海を砕ける波?  
でも、あなたの姿は見えませんが  
指にすくった涙のしずく  
エゾユリの花びらに移します

カムイ岬の伝説はメノコの叫び  
でも、あなたの姿は見えませんが  
あなたの名前、声をかぎりに  
叫んでも返るのは波の音  
(繰り返し)



1.  
遠いといふ 空が 限りなく そこは みなもみ原に 浮かぶ 影林  
雲も無い 朝の露らし あなたと別れて みとせ三年の春  
水鏡は無い 鏡がってみても 鏡影求めて こまらに飛び乗る  
長いトンネル 通り抜けたら なぜか涙が 頬をつたう  
過ぎ去る心 遠い思いは 前を歩み あなたを愛した  
顔音やさしい あは生保内川よ かげ実実が渡る道  
川のせせらぎに 響かれて ふるさとに響かれて 風になる

風の鼓動で せかれていても 家にやまとまる ノオオ原 (生保内川より)

2.  
駒ヶ岳 丸屋 土すねてゆけば 湯煙に浮かぶ あなたの姿  
あの日のおひき 夜更をまつる 流れ星ひとつ 砕けて流れた  
少女の涙が 水を抱え 懐しく海に 帰すように  
ふりそくを この手に受け止め そたてた愛を 待てばよかった  
誰かかなくて 寂しい夢を 醒まして花びら ぽろぽろのように  
深い思いを 田沢湖よ 抱きかかえ  
涙に 砕かれて 響かれて ふるさとに響かれて 水になる  
わしのおひき 田沢湖のたぎる 涙を飲めない ノオオ原の石 (生保内川より)

# 田村喜子先生 著書・作品集 (その4) [作詞]



**ヤポンスキージュラウリ**  
作詞/田村喜子 作曲/柳沢恵介

ハマナスが緑どる 根室の港  
 流氷に耐えた ロシア船がやってきた  
 波止場で出会った コバルト色の君の瞳  
 ぼくが 映って 揺れていた  
 おぼえたばかりの ロシア館で  
 “風連湖のほとりで 丹頂が卵 抱いているよ”  
 ナ ベレグ オゼラ フーレン ヤポンスキー  
 ジュラウリ シジトナ キイツェ

霧につつまれた 新沙布岬  
 冷たい波しぶき 岩場に散らす  
 無人灯台から 霧笛にのせ 呼びかける  
 あの海の彼方 貝殻色の島へ  
 僕の叫びを 届けたい  
 “風連湖のほとりで 丹頂のヒナが かえったよ”  
 ナ ベレグ オゼラ フーレン イズ キイツェ  
 ウィルブルシヤ プフェネツ ヤポンスキー ジュラウリキ

海がへだてる 君住む島へ  
 僕の 叫びが 届くかい  
 “風連湖のほとりから 丹頂の親子が巣立ったよ”  
 ズ ベレグ オゼラ フーレン ヤポンスキー  
 ジュラウリ ソ スオイム プチェンフオム  
 パキスリ グネズド  
 ナ ベレグ オゼラ フーレン ナ ベレグ  
 オゼラ フーレン  
 ヤポンスキー ジュラウリ シジトナ キイツェ  
 “風連湖のほとりから 丹頂の親子が巣立ったよ”

## [アニメ]



### 明日をつくった男 田辺朔郎と琵琶湖疏水

THE MAN WHO HAS CHANGED THE HISTORY  
 -A DRANNAGE OF LAKE BIWA

実写とアニメーションで描く京都インクライン物語  
 文部科学省選定作品・第21回土木学会映画コンクール最優秀賞受賞  
 第3回世界水フォーラム参加作品

**作品解説**

琵琶湖疏水とは、琵琶湖から京都市へ水を引く目的で引かれた水路のこと。アニメーションはもちろん、虫プロならではの技術で実写・記録映像・CG画像を融合により、疏水工事責任者・田辺朔郎氏の人となり詳しく描かれていきます。キャラクターデザインを人気漫画家の内田春菊さんが担当。実写シーンでは鶴見辰吾・純名りさ・寺田農といった実力派が顔を揃えた作品です。

**作品情報**

原作：田村喜子「京都インクライン物語」  
 監督：牛山真一 脚本：関口雄  
 86分 2003年3月公開 ビスタサイズ  
 お問い合わせは関西プロデュースセンター (075-581-0066)へ

**声優・主題歌**

《実写/パート俳優》  
 鶴見辰吾・純名りさ・寺田農・四方堂匡・鈴木晋介・田代凉子  
 《アニメーション/パート声優》  
 磯部弘・青野武・高木早苗・幸野善之

田村喜子先生・思い出のアルバム

(1) 出版物に見るポートレート



「心の風土記」



「京そだち」



「道の駅めぐり」

(2) 田村喜子先生の表情 (その1)

——知的で、明るく、愛らしく、未来を見つめる眼差し——





(2) 田村喜子先生の表情 (その2)

——知的で、明るく、愛らしく、未来を見つめる眼差し——



(3) 田村喜子先生・幼少から社会人へ (その1)



小学生の時の表彰状



西京大学 (現京都府立大学) 入学



堀川高女時代



若き日の田村喜子と市田ひとみ



大学生時代



記事執筆中



新聞社内の田村喜子



取材する眼差し

(3) 田村喜子先生・幼少から社会人へ (その2)



(4) 講演・感動を伝える



琵琶湖 朔水の話



沼津での講演



黒部の太陽

(5) 田村喜子先生・土木工事現場・最前線に立つ (その1)



共同溝



線路保線 (JR 西日本)



流域下水道 (大阪)



明石架橋 ケーブル足場



鉄塔の最高所



京都インクラインを歩く



竜門ダムにて



三国川ダムにて

(5) 田村喜子先生・土木工事現場・最前線に立つ (その2)



副島健氏と



下笠ダムにて



沖縄・北部ダム



三国川ダムにて



糸林芳彦氏と



漢部ダムにて



明石架橋

(5) 田村喜子先生・土木工事現場・最前線に立つ (その3)



淡路島フォーラム現地調査



沖縄にて



大滝ダムにて



余部鉄橋



新余部橋梁



黒部の氷柱



リニアの試乗

(6) 田村喜子先生・全国各地・旅を楽しむ (その1)



天塩川にて (カヌー体験)



昭和新山・乗馬の体験 平成2年5月12日



琵琶湖疏水を下る



オホーツクの流氷を体験



音楽を楽しむ



都江堰の旅 食を楽しむ



食を楽しむ・雪国食堂 (札幌)

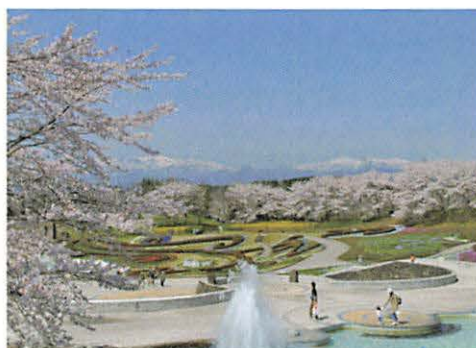


釧路漁港で食を楽しむ

(6) 田村喜子先生・全国各地・旅を楽しむ(その2)



みちのく公園



みちのく公園



奥尻島・錫釣岩



奥尻島の思い出



奥尻島の思い出



天塩川のカヌー下り



(6) 田村喜子先生・全国各地・旅を楽しむ (その3)



今村さんと



雪国食堂・名物メニュー



あかり看板



雪国食堂の「のれん」



雪国食堂のカウンター



福沢恵介「夢のはじまり」



緑化工法現地試験施工

(7) 田村喜子先生・人との出会い (その1)



森繁久弥さん (知床旅情)



淡谷のり子



市田ひろみ (服飾評論家タレント)



市田ひろみ・土木学会・竹内良夫



高橋裕先生と

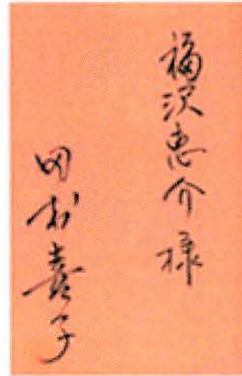


高橋裕先生と

(7) 田村喜子先生・人との出会い (その2)



真砂徳子 (キャスター)



福沢恵介 (シンガーソングライター)



森繁久弥さん



岩井茂樹さんと



黒部の太陽

(8) 田村喜子先生 多くの人に思い出を作る (その1)

——田村喜子先生の周りにはいつも人が一杯——



大深度地下空洞



田辺朔郎五十四回忌法要



台湾八田与一を偲ぶ旅



長良川河口堰現地視察



米国河川視察・高橋裕先生と



余部鉄橋現地視察



有岡邸・まーいい会



東京タワーを背景に喜寿会

(8) 田村喜子先生 多くの人に思い出を作る (その2)

——田村喜子先生の周りにはいつも人が一杯——



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)

(8) 田村喜子先生 多くの人に思い出を作る (その3)

——田村喜子先生の周りにはいつも人が一杯——



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



田村喜子先生 喜寿の会 (麻布にて)



(8) 田村喜子先生 多くの人に思い出を作る (その4)

——田村喜子先生の周りにはいつも人が一杯——



都江堰にて



天塩川



「みずき」にて 足立紀尚先生



釧路の朝市 (まあ・いい会)



折谷久美子さん 胡蝶蘭

(9) 田村喜子先生 風土工学の思い出



「鬼翔平物語」最優秀賞受章



感性工学会著作賞「風土と地域づくり」の受賞記念



第10回風土工学シンポジウム  
中村英夫、青山俊樹、加藤尚武



沢田敏男 元京大総長、松尾稔 元名大学長



風土工学シンポジウム 田村理事長 主催者挨拶



田村喜子理事長退任ご苦労様感謝の会、  
高橋裕先生 2011年9月30日 KKR 竹橋



河野清先生（土木学会副会長）と川崎秀明さん



年始はダルマの目入れから